

あおば 社協 だより

2022
3月号



特集 青葉かがやく 生き生きプラン



「あおば社協だより」は、横浜市青葉区社会福祉協議会（以下、青葉区社協）が実施している事業やイベントのお知らせ、報告等、青葉区内の地域福祉に関する情報を掲載しています。

社会福祉法人 横浜市青葉区社会福祉協議会
ホームページ <http://aosha.jp/>

青葉区社協 検索 Instagram やってます！

第4期計画（令和3年度※～7年度）がスタートします！

「地域福祉保健計画」とは、誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる地域づくりをめざし、住民、事業者、公的機関（行政・社会福祉協議会・地域ケアプラザ等）が地域の課題解決に協働して取り組み、「頼み、頼まれる」身近な支えあいの仕組みづくりを進めることを目的として、策定・推進する計画です。

青葉区では、「青葉区地域福祉保健計画『青葉かがやく生き生きプラン』」として、平成17年に策定した第1期計画から今日まで、さまざまな取組を地域の皆さんとともに進めてきました。

※第4期計画の対象期間は令和3年度からとなっていますが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、実質的な推進は令和4年度からとなります。

第4期計画のポイント

「地区別計画」は、より身近な地域の特性に応じた課題に対応するため、区内15の地区連合自治会エリアで計画を策定・推進しています。

「区計画」は、地区別の取組の支援と、区域での課題ニーズに応じた取組を合わせて推進しています。

理念

区民・事業者・行政の協働による福祉保健のまちづくり
～みんなの力で！もっと素敵に青葉区ライフ～

目標

誰もが担い手であり、受け手である地域社会をつくる



第4期計画では取組の推進に必要な「3つの柱（①相互理解・支え合い、②生き活き・すこやか、③場・機会・情報の充実）」を掲げ、区計画では柱ごとに区域全体に関わる取組を「5年後にめざしたい青葉区の姿」として位置付けています。

また、地区別計画は、地区ごとに住民の皆さんが中心となって話し合いを重ね、「5年後に目指したいまちの姿」「目標」や「取組」を掲げています。

※冊子・概要版の配布場所は、青葉区役所・青葉区社協・区内12地域ケアプラザなど。

「地域福祉保健計画」は、地域でのつながりと支え合いを大切にしてきました。新しい生活様式においても地域がつながり続けられるように取り組んでいきます。



「青葉かがやく生き生きプラン」に関するお問い合わせは

横浜市青葉区役所福祉保健課

☎ 045-978-2436

横浜市青葉区社会福祉協議会

☎ 045-972-8836

「青葉かがやく
生き生きプラン」
第4期計画の詳細は
こちらからもご覧
いただけます。



募金ご協力ありがとうございます

赤い羽根募金、年末たすけあい募金、日本赤十字募金に、ご協力ありがとうございました。お寄せいただきました募金は、区内の福祉保健活動団体への助成等や日本赤十字社の活動に役立させていただきます。



共同募金 PR 大使
クレビーシマウマ
「ココロ」



街頭募金の様子

活動レポート

募金実績

令和4年2月22日現在

赤い羽根募金	17,795,175 円
年末たすけあい募金	18,153,073 円
日本赤十字募金	15,276,920 円

インタビュー

「えがお・あおば」

青葉区社協では、障害福祉の理解啓発に取り組んでいます。「インタビュー えがお・あおば」では、区内施設・団体で活動している障害のある方々への取材を通じて、普段の様子や声をご紹介します。
※協力：本会当事者団体部会・障害者施設連絡会

02 特定非営利活動法人エキープ 就労継続支援B型事業所※ 桜台メゾン

※就労や生産活動の機会を提供（雇用契約は結ばない）するとともに、就労に必要な知識、能力が高まった者は、一般就労等への移行に向けた支援を実施。

「桜台メゾン」では、障害がある人もない人も、みんなが仲間になって集える居場所作りをめざし、建物の1階をカフェ、2階を作業スペースとして運営しています。カフェ事業では、調理や接客、お金の管理を通じて、自立に必要なソーシャルスキルトレーニングを行っています。今回はそこでお仕事をされている「金澤貴寛さん」にお話を伺いました。



金澤貴寛さん

Q. 週に何日間働いていますか？

A. 週5日、10時半～14時半の平均4時間くらいです。はじめは、週2日2時間から始め、徐々に時間と日数を延ばしていきまし。昨年8月から勤務を始め、約1年5か月働いています。



Q. 働き始めたきっかけはなんですか？

A. 10年近く引きこもりでした。ある時、区の職員さんに勧められてエキープに訪問しました。その際に食べたご飯とケーキがおいしかったこと、アポなしで訪問したのに、話を聞いてもらったことが嬉しくて、こちらで働きたいと思いました。



Q. 現在、担当されているお仕事は何ですか？

A. アイロンがけやミンです。後輩に仕事のコツを教えており、学生時代に弓道部で後輩を指導していた経験が役に立っているとします。



Q. 大変なことはなんですか？

A. 朝起きるのが苦手なため、はじめは9時に出勤するのが難しかったです。土日休みだと月曜日に起きられないことがあるため、月曜に休まないようにすること、朝起きることが課題です。仕事では後輩に指導する立場にあるので、伝わらないときや自分の仕事をしながら仕事を後輩に割り振るのが大変です。



Q. お仕事をしていて楽しいことは何ですか？

A. 指導したことが、うまく伝わった時です。仕事へのこだわりを持っているので、アイロンをピシッとかけられたときの達成感。この達成感が自分の癒しになります。



色々な話を伺い、後輩の指導という大変なことがあっても、それを乗り越えながらイキイキとお仕事をされている金澤さんがとても輝いて見えました。エキープでは、こだわり食材のランチを提供していますので、是非この機会に足を運んでみてください。



施設・団体情報

施設名：桜台メゾン
連絡先：045-513-2942

所在地：青葉区桜台 36-10
HP：<https://equipe-yokohama.com/>

次回は、「あおば地域活動ホームすてっぷ」さんです。

今年4年度「あおばふれあい助成金」のご案内

・継続／新規申請受付期間

令和4年4月4日(月)～28日(木)まで

・新規立ち上げ区分事業申請期間

令和4年4月4日(月)～12月23日(金)まで

※新規立ち上げ区分対象：年度内に立ち上がった団体(但、申請年度内に3か月以上の活動実績が必要)

(注意)説明会は開催しません。令和4年度における申請方法や申請書の取得に関する詳細は、青葉区社協ホームページをご覧ください(3月7日頃掲載予定)。なお、新規で申請される方は、必ず事前に助成金担当者までご連絡ください。



ご寄付いただき ありがとうございます。



(2021年12月28日～2022年2月28日
寄付者ご芳名)

コスモ青葉台シェル・ヴェール式番館自治会/
田中 浩一/菊子 晃平/イトーヨーカドー労働組合たまプラーザ支部/榎朝日/匿名5件
※順不同・敬称略

社会福祉法人 横浜市青葉区社会福祉協議会

〒225-0024 横浜市青葉区市ケ尾町1169番地22 青葉区福祉保健活動拠点「ふれあい青葉」内
電話 045-972-8836(代表) 045-972-7018(ボランティアセンター) 045-479-9111(移動情報センター)
FAX 045-972-7519
メール info@aosha.jp(代表) URL <http://aosha.jp/>

「あおば社協だより」は、赤い羽根共同募金配分金の一部を活用して発行しています。

